

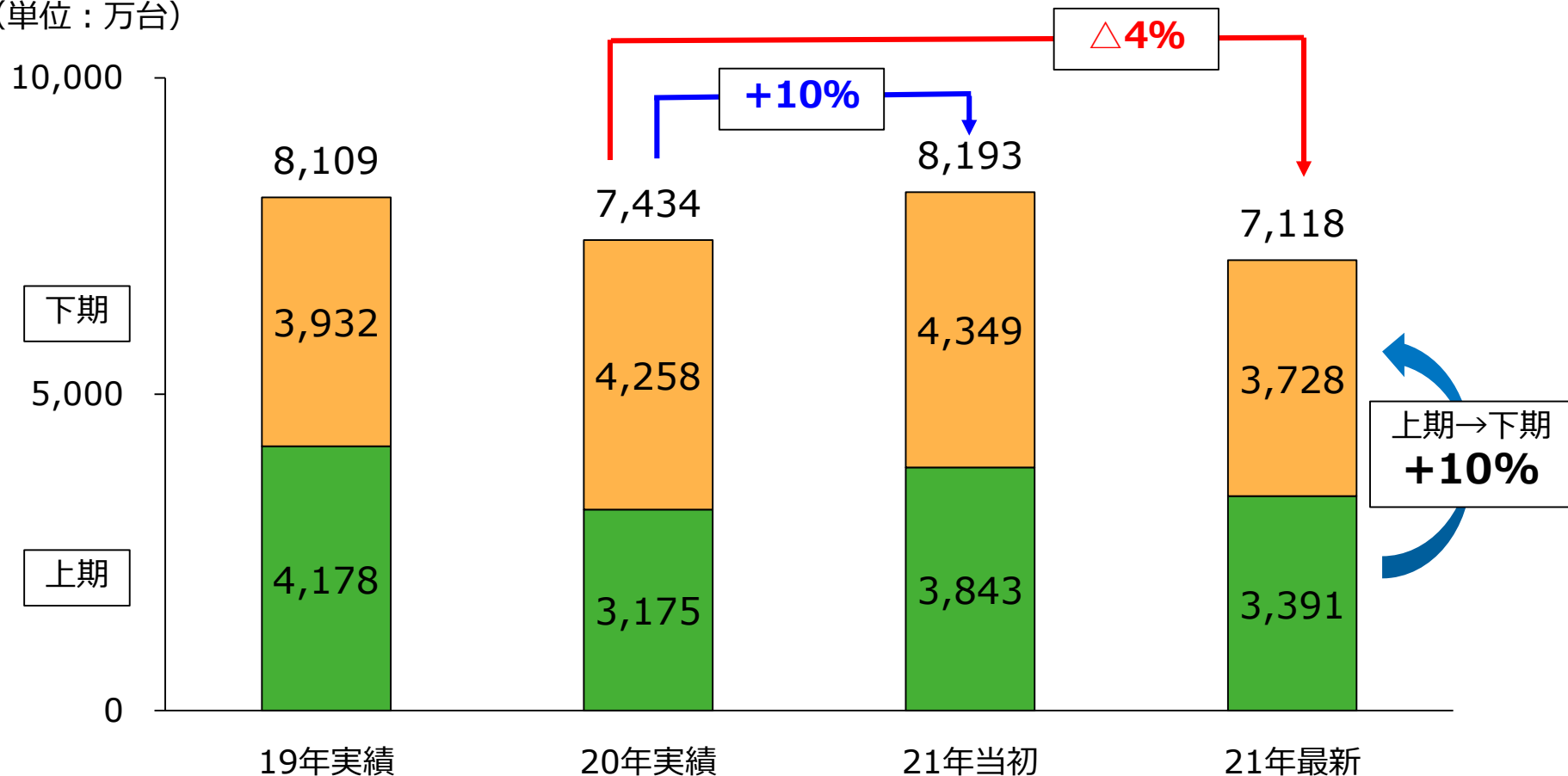
自動車セグメント 業績概況

住友電気工業株式会社
副社長 西田 光男
2021年11月17日

世界自動車生産の推移(2019-2021年)

※FYベース
(単位：万台)

出典：IHS worldwide 「Light Vehicle Forecast」 21年11月速報版



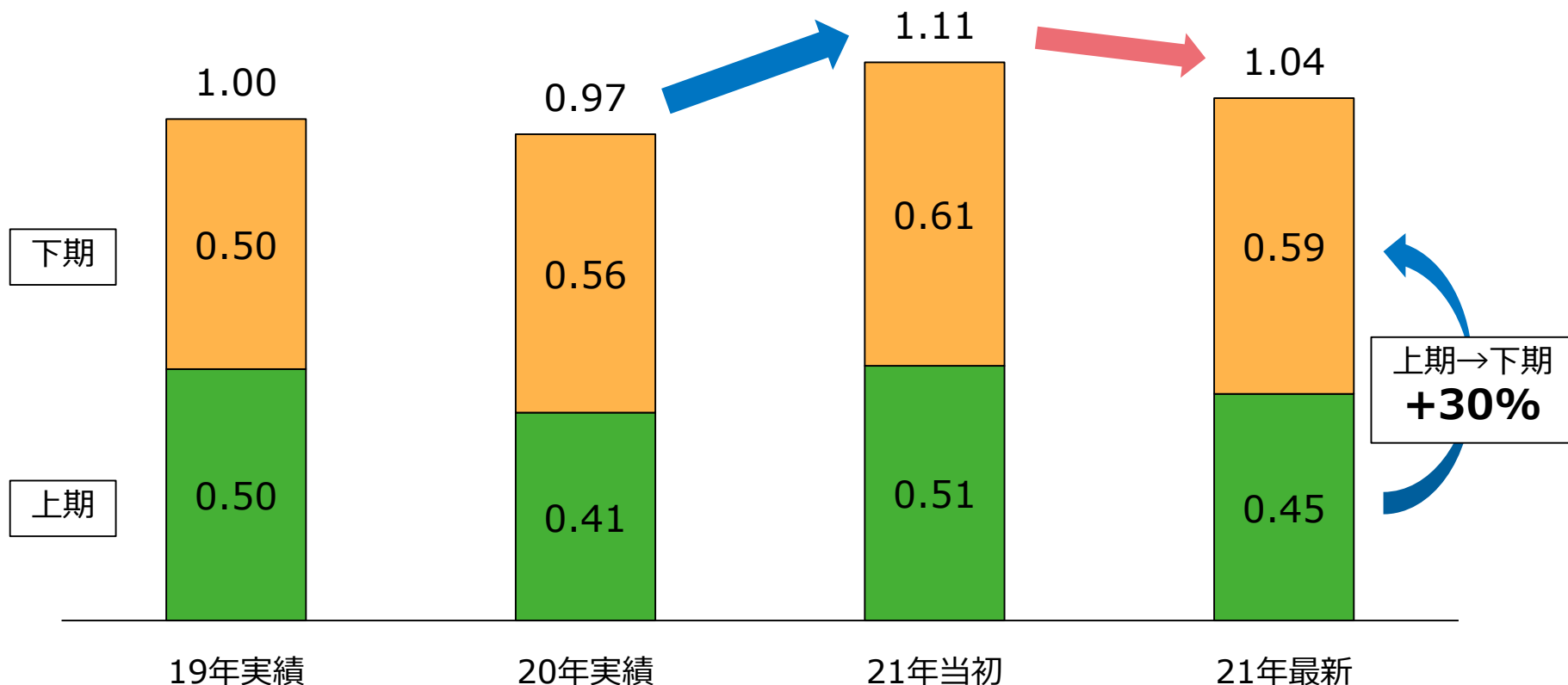
21年当初計画では対前年+10%を見込むも、
半導体不足の影響やアセアンでのコロナ拡大により最新では対前年△4%

ハーネス 受注量の推移(2019-2021年)

※19年を1とし、指数化

20年→21年計画	
自動車生産	+10%
ハ-初受注量	+15%

20年→21年見通し	
自動車生産	△4%
ハ-初受注量	+7%



新規受注モデル立上げに伴い、21年上期→下期で**+30%増加**

自動車セグメント 業績推移(2020-2021年)

■ 売上高

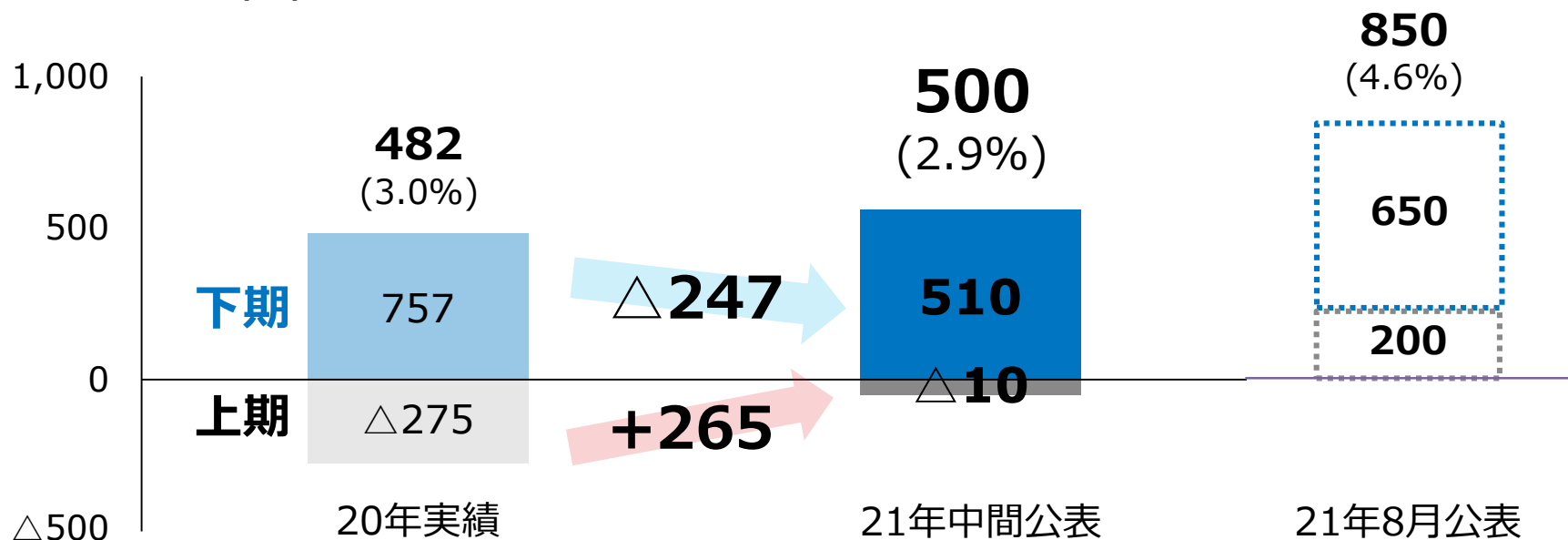
(単位:億円)

16,020

17,500

18,400

■ 営業利益(率)



上期はコロナ影響からの回復により対前年で大幅増益
 下期は資材価格高騰、物流コスト増等で対前年減益の計画、年間では増益

自動車セグメント

2021年上期 対前年 営業利益増減分析(+265)

(億円/期)

△275



20年
上期実績

銅・資材
△150



売値
品種構成
△145



物流コスト
△99



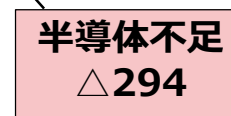
量増
+545



原価低減
間接費抑制他
+114



半導体不足
△294



△10

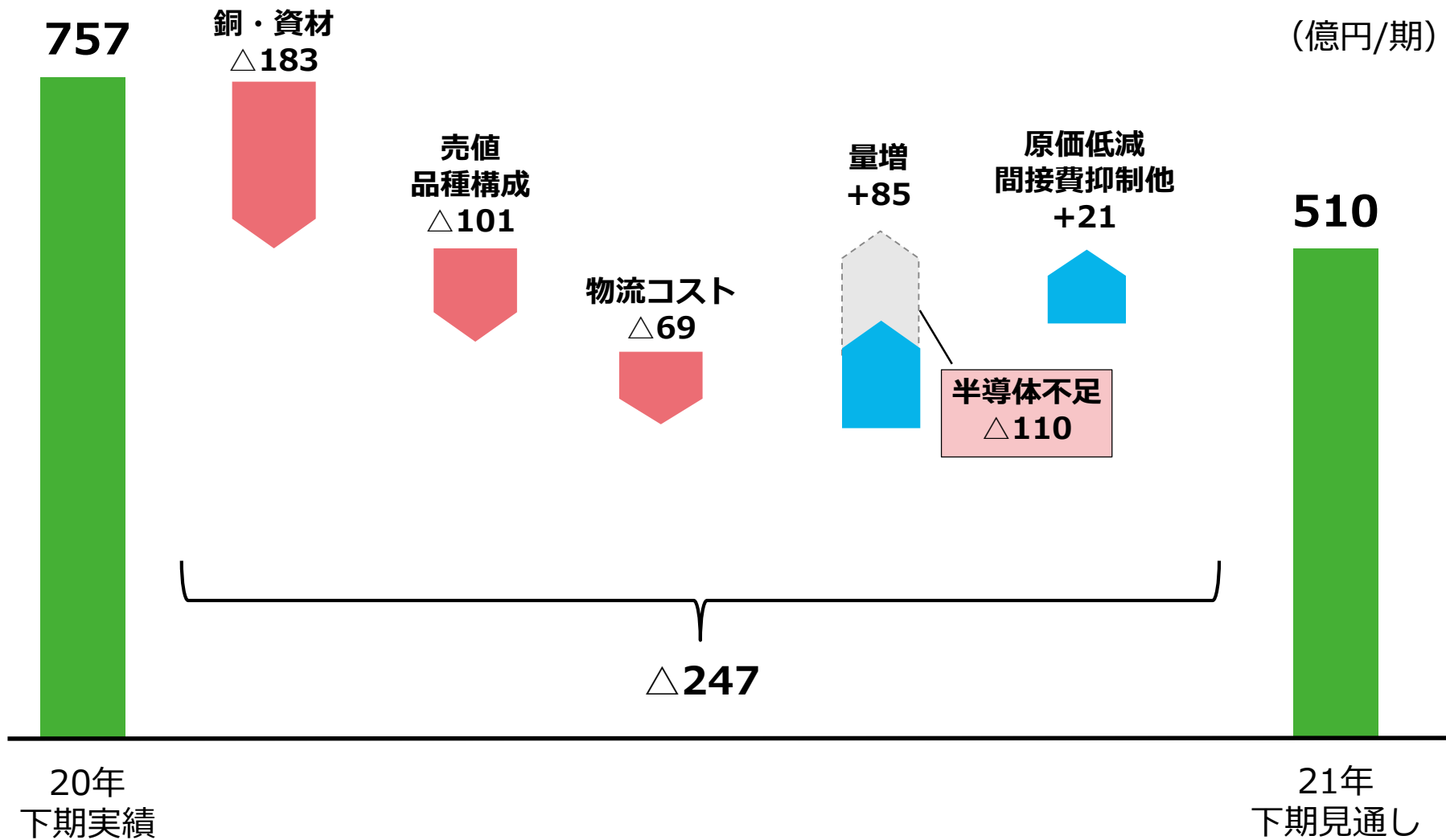


21年
上期実績

+265

自動車セグメント

2021年下期 対前年 営業利益増減分析(△247)

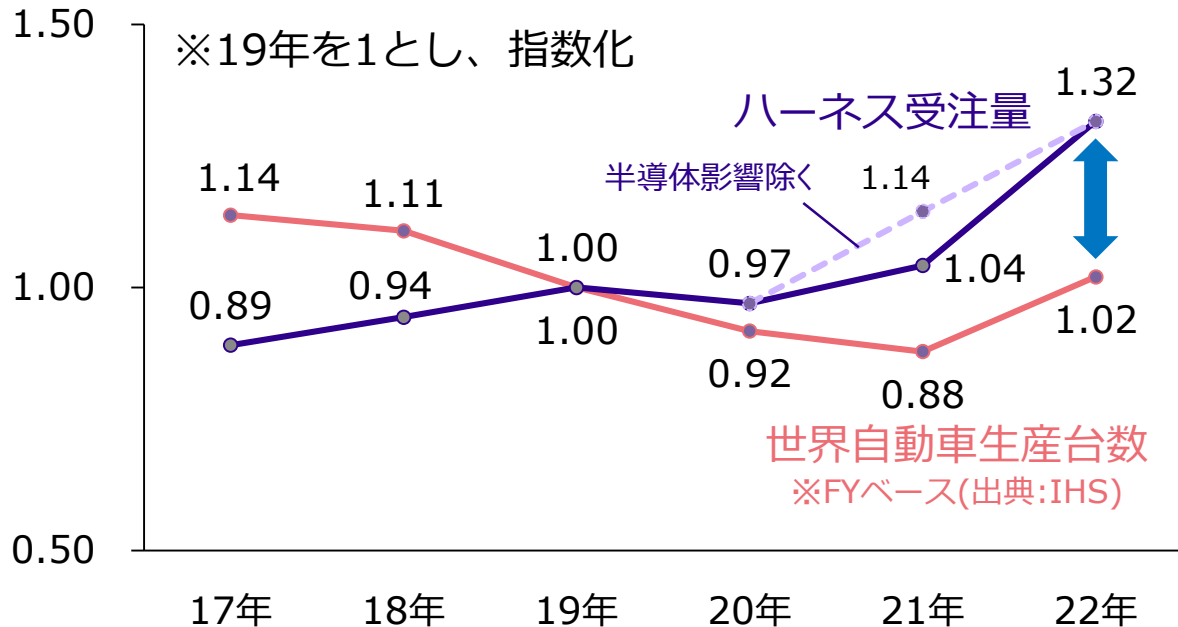


原価低減の取り組み

No.	項目	取り組み
1	物流費	<ul style="list-style-type: none">・ 貨物量情報の早期確定/開示による予約前倒しの推進・ 収容効率の改善、海上輸送ルートの見直し→ 船会社との交渉強化、海上運賃UPの抑制・ 緊急エア費の発生を抑制・ 最適なグローバル生産レイアウトの在り方の再検討
2	部材費	<ul style="list-style-type: none">・ 銅 : 電線銅は顧客とのスライド導入済み・ 資材 : 安価材の適用拡大仕入先との値上げ抑制交渉顧客との粘り強い交渉による価格水準の適正化
3	加工費	<ul style="list-style-type: none">・ 低コスト地域への生産シフト推進・ 省人化設備/工法、自動化(ロボット)の拡大

22V、ポスト22Vに向けて

■ 世界自動車生産台数とハーネス受注量の推移



欧米系OEM向けを中心とした新規受注モデルの立上げにより
市場の伸びを上回るペースで
ハーネス受注量は増加の見通し

■ 重点取り組み

- ・ 客先挽回需要の確実な捕捉と、**新規受注モデルの円滑な立上げ**
- ・ **市況影響/物流コストの上昇抑制**
- ・ BCP対策(バックアップ体制の整備/構築、戦略在庫の確保)
- ・ ポスト22Vに向けて、**CASE対応、海外系顧客への拡販強化**

CASE時代の多彩な製品群

電動化



充電コネクタ&
インレット



パスバモジュール



高圧JB



パイプハーネス



パワーケーブル

コネクテッド



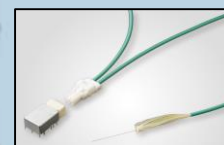
交通インフラ管制



セントラルゲートウェイ

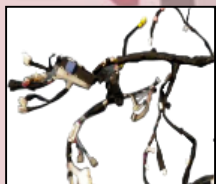


高速通信ハーネス

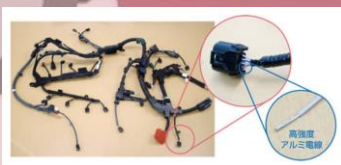


光ハーネス

低圧ハーネス、コネクタ、電線



低圧ハーネス



アルミハーネス




コネクタ



電線



エレクトロニクス製品



つなげる、つながる。



Connect with Innovation

<https://sumitomelectric.com/jp/>